

<新年のあいさつ>

本年もよろしくお願い致します。

初めに元日に発生した石川県能登地方で発生した「令和6年能登半島地震」につきまして、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、負傷された皆様、被災された全ての皆様に心からお見舞いを申し上げます。

旧年中は労働組合の諸活動に対し、組合員の皆様はもとより、会社役員をはじめ管理職の皆様方にもご協力・ご支援を賜りましたことに対し、心より厚く御礼を申し上げます。

また、労働組合は昨年9月15日をもって結成50周年を迎えることができました。これまで共に歩んでいただいた全ての皆様に重ねて感謝申し上げます。

さて、2023年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し行動制限が緩和され、感染リスクは残るものの、「日常」や「活気」が戻った1年であったと思います。一方で、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の長期化、エネルギーや資源価格の継続した値上がりなど、以前にも増して私たちの生活に様々な形で影響を及ぼしました。

今年度は会社方針である「『風通し向上活動』の深化による組織風土の継続的改善」を掲げ、「従業員と会社が会話する場」を継続実施してきました。既に、終盤に差し掛かっています。これまで、多く

の会話がなされ、皆様の貴重な意見を会社と共有することができ、全社で取り組みを進めていただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。皆様の貴重な意見は労使で深掘りを行い改善を図っていきたいと思います。また、会話の場の活動は形を変えて継続していきます。しっかりと活動を繋げ意味のある取り組みとしていきたいと思いますので、引き続きのご協力をお願い致します。その上で私から皆さんにお願いしたいことがあります。それは、業務やプライベートなどの日常の会話の中で、相手の「考え方」やそこから見える「大切にしていること＝価値観」を否定せずにはまず受け入れていただきたいということです。私自身、社内外で幅広い年代の方々と多く会話し、様々な業種の方々と集合研修やグループディスカッションをしてきましたが、それぞれの年代や過去の経験・体験によって「大切にしていること＝価値観」が異なることは当たり前だということ、そしてそれを否定せず受け入れて会話を続けていくと、「実は・・・」、「本当は・・・」と相手が自然と本音を語ってくれているということに気付くことができました。逆に、相手の大切にしていることを否定してしまえば、受け入れてもらえないと思われ本音が話せなくなるということになります。

「価値観」は違って当たり前、だからこそ継続的な会話が必要であり、お互いを理解し合うために会話をする時間が必要だと思います。まずは、上司の方々から積極的に会話いただき、傾聴する行動

をとっていただくことをお願いしたいと思います。相手の「価値観」や「本音」を知ることで、きっと新たな発見や問題・課題の解決に繋がるものと信じています。本年は、より多くの「会話」を心掛け活発な1年にしていきたいと思います！

最後に、皆様とご家族が心身ともに健康で過ごされますことをご祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

共に頑張りましょう！